

北海道地震（9月6日）から約1カ月半。道民、観光客の足を守り、農産物を本州に輸送する鉄路は震災復旧・復興に欠かせません。その大動脈に責任を負うJR北海道でいま…。 北海道、熊末未来、名越正治記者

「災害に便乗して廃線を進めようとする動きが出てくるなら許せません」

# 地域発

震災で大きな被害が出た、むかわ町の竹中喜之町長は9月17日、日本共産党の小池晃書記局長に訴えました。小池氏は「絶対にあってはならない。国に（日高本線の）存続と全線開通を強く訴えています」と応じました。

町長が廃線の危機感を抱くのは、JR北海道が2016年に同路線を「維持困難路線」に指定しているからです。15年の高波と台風による土砂流出の被害にあった日高本線（苫小牧―様似）さまに…

線が廃線の危機感を抱くのは、JR北海道が2016年に同路線を「維持困難路線」に指定しているからです。15年の高波と台風による土砂流出の被害にあった日高本線（苫小牧―様似）さまに…

線が廃線の危機感を抱くのは、JR北海道が2016年に同路線を「維持困難路線」に指定しているからです。15年の高波と台風による土砂流出の被害にあった日高本線（苫小牧―様似）さまに…

## JR北海道



レールのゆがみを見る富山前議員＝9月14日、北海道厚真町

# 震災便乗廃線許せない



# 被災町長「日高線の復旧必要」

JR北海道（左）に要請する「存続を求める会」の人たちと富山氏（右）ら。9月3日、札幌市

員）は先月27日に同町を訪問。大鷹町長は「日高本線は災害復旧が必要です。しかしJR北は廃線ありきの姿勢を変えていない」と語気を強めます。

富山氏は、今回の北海道地震で被災した現場に足を運び、レールの大きなゆがみを確認しました（写真）。早期復旧を求める声に押され政府は今年14日、ようやく重い腰を上げました。

石井啓一国土交通相は苫小牧―鶴川間の運転再開のめどを明らかにするよう指導。費用面も支援すると表明しました。JR北は同区間を1月上旬に復旧させる見通しだと発表しています。

### 時間倍かかる

苫小牧―鶴川間は現在、代行バスを運行。列車なら30分ほどですが、バスでは倍の1時間かかります。

バスと列車を乗り継ぎ苫小牧に通学していた高校3年の男子生徒は震災後、朝の代行バスの遅れでよく遅刻す



## 遅れ多い代行バス 通学・通院大変 住民の足奪う人災だ

富山町議（左）と大松町議（右）がJR北海道に要請する様子。9月16日、むかわ町

るとごぼします。帰りはバスに間に合わず、親が迎えに。男子生徒は「バスは座席が狭いし、自動車道でガタガタと揺れてつらい」。

富川駅から苫小牧に通う高校3年の女子生徒は「勉強する時間が減っちゃった。通学時間が長くなり、精神的にも疲れます」と。

苫小牧に通院するむかわ町の神田和子さん（79）は「足腰が悪く、先日はバス乗車にぎりぎりの時間。遅れたら2時間以上は来ない」

幅広い運動に沿線住民の声も高まっています。

「震災に便乗した廃線なんて絶対許せない」と話すのは日本共産党の大松紀美子・むかわ町議。鶴川駅前で利用者の要望を聞いています。JR北は苫小牧から鶴川まで復旧させると発表したが、すぐにでも日高門別まで列車を走らせることは可能です。JRは責任を果たしていない。幅広い運動に沿線住民の声も高まっています。